# 算数科 小学校 5年

# 単元の流れ(全18時間)

## 【第1次】

### 主な学習内容

- ◇第1時 体験学習の希望調査をもとに、定員と希望 者数の関係を考え、割合の意味を知る。
- ◇第2~4時 関係図や線分図を用いて、全体と部分の割合や部分と部分の割合、比べる量、もとにする量の求め方を理解する。

#### 「知識・技能」を定着させるために

- ・問題文に線を引いて、もとにする量、比べる量、割合を はっきりさせる。
- ・関係図、線分図について共通な作成手順を示し 、ながら定着を図る。



#### 【第2次】

#### 主な学習内容

- ◇第5時 百分率の用語と1%の意味について知り、身の 回りから百分率で表されるものをさがす。
- ◇第6時 関係図を使って、百分率の求め方を理解する。
- ◇第7時 関係図を使って、比べる量の求め方を理解する。 (本時)
- ◇第8時 割合に関する作問を通して、百分率、比べる量、 もとにする量を求める。
- ◇第9時 練習問題を解く。

# 「知識・技能」を定着させるために

- ・児童の身の回りで割合が使われているものを提示し、百分率と小数倍との関係を理解させる。
- ・練習問題を身近な内容にして、問題を繰り返しさせる。

#### 「活用」の力の育成のために

店の売り出しの広告を出すことを課題とし、グループ活動に関心・意欲をもたせる。

# 単元名 「割合~くらべ方を考えよう~」 啓林館 「わくわく算数5下」 (旧版)

\*旧教科書に即した展開例

#### 単元目標

○割合の意味について理解し、小数や百 分率を用いて問題を処理する。また、 求めた割合を帯グラフや円グラフに表す。

#### 単元構成の意図

本単元では、割合や百分率とその活用、割合 のグラフなどを学習する。事前に、レディネステ ストを行う。テストの範囲は、3年生と4年生の 「何倍になるのかな」の評価問題を使用する。レ ディネステストの結果から考えられることは、次 の4つである。

- ① 何がもとにする量なのかを判断する力が弱い。
- ② 比べるものが3つ以上になると、思考の 整理がしにくい。
- ③ 誤答で多かったのは、倍同士でたし算を したりひき算をしたりしているものであ る。
- ②をかきなれていなかったり、作問したりすることに慣れていない。

以上の点を踏まえ、本単元では、次のことに 指導の重点を置き、学習を進める。

- ① もとにする量、比べる量、割合をはっきりさせ、問題に当てはめて解決させる。
- ② テープ図、線分図、関係図などの図を書くことで、図の有用性に気付かせ、思考を 整理しやすくする。
- ③ 「倍」の意味理解について、学年をさか のぼった学習内容の定着をチャレンジタイ ムなどで図る。
- ④ 自力解決の際には、必ず図をかいて(式が先でも、図が先でも構わない)、自分の考えを表現させる。
- ⑤ 形成的な評価に加え、ステップ式の問題 に取り組ませるようにする。

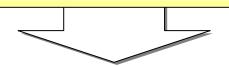
### 【第3次】

#### 主な学習内容

- ◇第10時 帯グラフと円グラフの意味を理解し、それらのグラフを読む。
- ◇第11時 帯グラフと円グラフをかく。

#### 「知識・技能」を定着させるために

今までに習ったグラフを提示し、違いに着目させ、部分と部分 を比較させるなど、丁寧に読み取らせる。



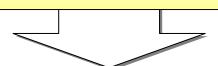
#### 【第4次】

#### 主な学習内容

- ◇第12時 全体を1として、割合の積を考えて問題の解決をする。
- ◇第13時 もとにする量の何倍にあたるかを考えて、2つの量 の和にあたる大きさを求める。
- ◇第14時 たしかめ道場(練習問題)をする。

## 「活用」の力の育成のために

線分図や関係図を使ったりして、問題の意味を整理しながら考えさせる。



#### 【第5次 第15~18時】

#### 主な学習内容

- ◇第15時 割合、比べる量、もとにする量を求める。
- ◇第16時 身の回りの資料や自分で調べたことを、割合を 使ってグラフに表す。
- ◇第17時 既習事項の復習をする。
- ◇第18時 評価テストをする。

CLICK 評価問題

# 「活用」の力の育成のために

- ・「買い物」という日常生活に即した場面において、多様なコ ースを設定し慣れさせる。
- ・修学旅行に向けて調べたことをグラフにして、そこから読み 取ったことをレポートにまとめさせたり発表させたりする。

# 「活用」の力を育てる ポイント

- ① 店の売り出しのチラシを出すことを 課題にして、実生活に近い場面での応 用に取り組ませる。
- ② 線分図や関係図を活用し、自らの立式を説明させる。
- ③ 「買い物」という日常生活に即した 場面設定で、関係づくりに取り組ませ る。
- ④ どちらを購入するのが得であるかを 課題として問題を解決させる。

# 「知識・技能」定着のための ポイント

- ① 問題文の中のもとにする量、比べる量、割合に下線を引いて、何を求める問題なのか理解させる。
- ② 実際のテープを使って、視覚的に 量感を伴った意味理解を図る。
- ③ 関係図と線分図の共通な作成手順 を示しながら定着を図り、図が有効 であることをおさえる。
- ④ 今までに習ったグラフと比較し、 違いに着目させる。

詳しい単 元指導計画 はこちら



本時の流れへ